（法第１０条第１項関係様式例）

初年度事業計画書

「定款例」附則の５の期末と一致します。

設立の日から令和〇〇年〇〇月〇〇日まで

法人名：**特定非営利活動法人ひごまる会**

１　事業実施の方針

定款第５条に掲げる事業名をそのまま転記し、事業ごとにお書きください。

２　事業の実施に関する事項

定款第５条に掲げてある事業名毎に記載してください。各事業の下に細分化されたプロジェクトがあれば、事業内容ごとに分けて記入してください。

(1)　特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事　業　内　容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込額（千円）
〇 〇 事業	在宅高齢者に毎週2回、〇〇サービスを行う	通年	〇〇町公民館	10人	〇〇町の高齢者50人	1,500
△ △ 事業	環境問題に関する啓発メールマガジン発行	週1回	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	2人	県内外の読者1000人	45
◇ ◇ 事業	まちづくりに関するセミナーを開催する	◇月□日	◇◇市民会館	5人	一般500人	6
施設管理運営受託事　業	〇〇町公民館の管理運営を受託し、高齢者支援、まちづくりに取組む団体等とのネットワークを広げる	通年	〇〇町公民館	2人	〇〇町の活動団体・個人1000人	200

(2)　その他の事業(ない場合は記載しなくて結構です)

定款の事業名	事　業　内　容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	支出見込額（千円）
ﾁｬﾘﾃｨﾊﾞｻﾞｰ	不要品を拠出してもらい、フリーマーケットで販売する	〇 月 × 日	ｸﾞﾗﾝﾒｯｾ熊本	10人	20
ﾌｪｱﾄﾚｰﾄﾞ事業	フェアトレードによる商品を販売	毎月第2金曜	ﾊﾟﾚｱ F1 ｽｸｴｱ	10人	130
ビデオ作成	他NPO法人の啓発CGビデオ作成を受託	通年	当法人事務所	3人	10

※定款第5条に掲げる■■事業は、従事者人員不足のため、初年度開始は見送り、次年度から実施する。具体的内容は〇〇〇〇〇〇〇〇を予定。

定款に掲げた事業のうち、実施しない（できない）事業があれば、ここにその理由と実施予定（見通し）について記載します。
なお、翌年度以降も実施しない場合は、再考してください。

（法第１０条第１項関係様式例）

設立当初の事業年度終期の翌日から１年間となります。

翌年度事業計画書

令和〇〇年〇〇月〇〇日から令和〇〇年〇〇月〇〇日まで

法人名：特定非営利活動法人ひごまる会

１　事業実施の方針

２　事業の実施に関する事項

記入要領は初年度に同じ。定款第５条の事業名毎に記入。

（１）２　事業の実施に関する事項

(1)　特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事　業　内　容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込額(千円)

(2)　その他の事業(ない場合は記載しなくて結構です)

定款の事業名	事　業　内　容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	支出見込額（千円）

備考は記入のための注意事項であり、よく読んで事業計画書を作成してください。提出される様式には記載不要です。

（備考）

１　「2　事業の実施に関する事項」は、(1) には特定非営利活動に係る事業、(1)に該当しない事業を行う場合にあっては「(2) その他の事業」として、(1)と区分して記載する。

２　「2　事業の実施に関する事項」の (1) については、事業毎に事業名、事業内容、実施予定日時、実施予定場所、従事者の予定人数、受益対象者の範囲及び予定人数並びに支出見込額をそれぞれ記載する。

３　「2　事業の実施に関する事項」の (1) のうち「受益対象者の範囲及び予定人数」の欄には、具体的な受益対象者及び予定人数を記載する。

４　「2　事業の実施に関する事項」の (2) については事業毎に事業名、事業内容、実施予定日時、実施予定場所、従事者の予定人数及び支出見込額をそれぞれ記載し、該当する事業を行わない場合にあっては記載を要しない。なお、「その他の事業」を行う場合の記載内容等についても、これと同様とする。